

1 目的

農業系専門高校である園芸工学・農業経済科の教育効果を高め、農業教育と農業普及事業との連携を強化し営農指導・後継者育成等の事業を行い指宿地域の農業後継者育成を推進する。

2 実施状況

(1) (出前授業)の実施

3年生(野菜専攻)による大成小5年生への野菜栽培の指導を行った。

小学生に教えることで、本校生徒も自信を持つようになった。



(2) (バイオ苗引渡式)の実施

指宿地区の生産者及びJA関係者の参加のもとに20年に渡る引渡式を行った。

日頃の授業の成果が地域への貢献していることを再確認できる場となった。



(3) (1年生視察研修)の実施

かごしま園芸市場において、本校出荷の花の競り見学と花市場の状況説明を受けた。

日頃の花の栽培管理等が大切であることがわかった。また、きいれ牧場では、最近の農業状況を説明され、採乳した牛乳を使用して、モッツラレアチーズ作りをしてピザ焼きの体験を行った。



(4) (2年生視察研修)の実施

県立農業大学校において、各学科の特徴や進路状況・寮生活等への説明を受けた。生徒は農場の広さに驚いていた。木場農園でのイチゴ狩り体験では生徒は園主にイチゴの管理方法や観光農園の方法等質問していた。充実した体験ができた。



3 今後の課題、取組

本校生の殆どが非農家であり、少ない農家出身でさえも、異業種に就職していく。農業で成功された方々の話や農業に関連している施設を見学し、説明を受けることで、少しでも農業に興味関心を持ち、進学や就農への夢を持てるような研修にしていきたい。